

「いたがきます」

おおはまはく

なつ休みのある日、しんせきとばいびき、  
ーをすることになりました。でも、それはな  
んとぶたのまるやきだったのです。  
わたしのおきなわでは、むかし、お祝  
いごとのとき、ぶたのまるやきをするとい  
しゅうかんがあったそうです。

その日はお祝いごとではないけれど、おぼ  
んでかえってきたしんせきをかんげいするた  
めに、ぶたのまるやきをすることになりまし  
た。

パパがつくったやきだいのよでまあるぶた  
さんを見て、わたしはびっくりしてしまい、  
とてもかわいそうでした。ぶるきになりませんで  
した、そのときママがいました。  
「スピーパーにならんだきれいなおにくも、も  
ともとはおなじすがただよ、いのちをいただ  
くからこそ、のこさずきれいにたべるんだよ。  
ママのはなしをきいて、わたしはこうおも

いました。

わたしはふだんすききらいがおおいし、ごはんをたべながらふざけてしまうこともあるし、「いただきます」をいいわすれてしまうことがある、それはとてもひどいことをしていたんだな、とはんせいしました。

それでもやっぱりかなしかつたけど、さいごまできれいにたべました。

「いただきます」と「ごちそうさま」ということは、ただい、えばいいというわけではなく、こなにたいせつないみがあるんだなとしました。

これからはいのちにかんしゃすることをおすすめせん。

ぶたさんありがとう、ごちそうさまでした。